

「千葉県オレンジ連携シート」の利用状況等に関するアンケート結果

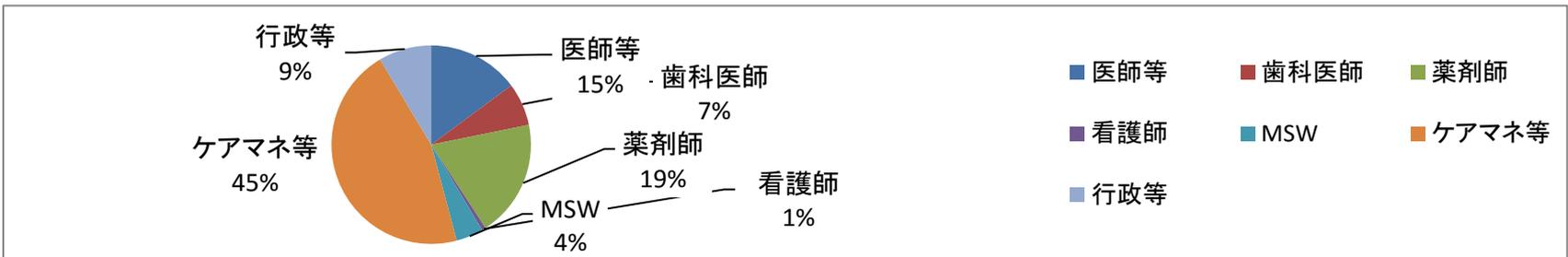
実施期間: R2.11.6~R2.12.14

- 調査対象:
- ① 認知症疾患医療センター、認知症サポート医、かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者(以下「医師等」)
 - ② 歯科医師認知症対応力向上研修修了者(以下「歯科医師」)
 - ③ 薬剤師認知症対応力向上研修修了者(以下「薬剤師」)
 - ④ 看護職員認知症対応力向上研修修了者(以下「看護師」)
 - ⑤ 千葉県医療ソーシャルワーカー協会会員(以下「MSW」)
 - ⑥ 居宅介護支援事業者(以下「事業者(ケアマネ等)」)
 - ⑦ 市町村、地域包括支援センター、中核地域生活支援センター(以下「行政等」)

回答数: 2,184件(回答率42.0%) ① 324 ② 152 ③ 416 ④ 14 ⑤ 96 ⑥ 995 ⑦ 187

【回答数及び回答率について】

	①医師等	②歯科医師	③薬剤師	④看護師	⑤MSW	⑥ケアマネ等	⑦行政等	合計
対象者数(人)	1069	522	1020	87	361	1846	283	5188
回答者数(人)	324	152	416	14	96	995	187	2184
回答率(%)	30.3	29.1	40.8	16.1	26.6	53.9	66.1	42.1
全体割合(%)	14.8	7.0	19.0	0.6	4.4	45.6	8.6	100.0



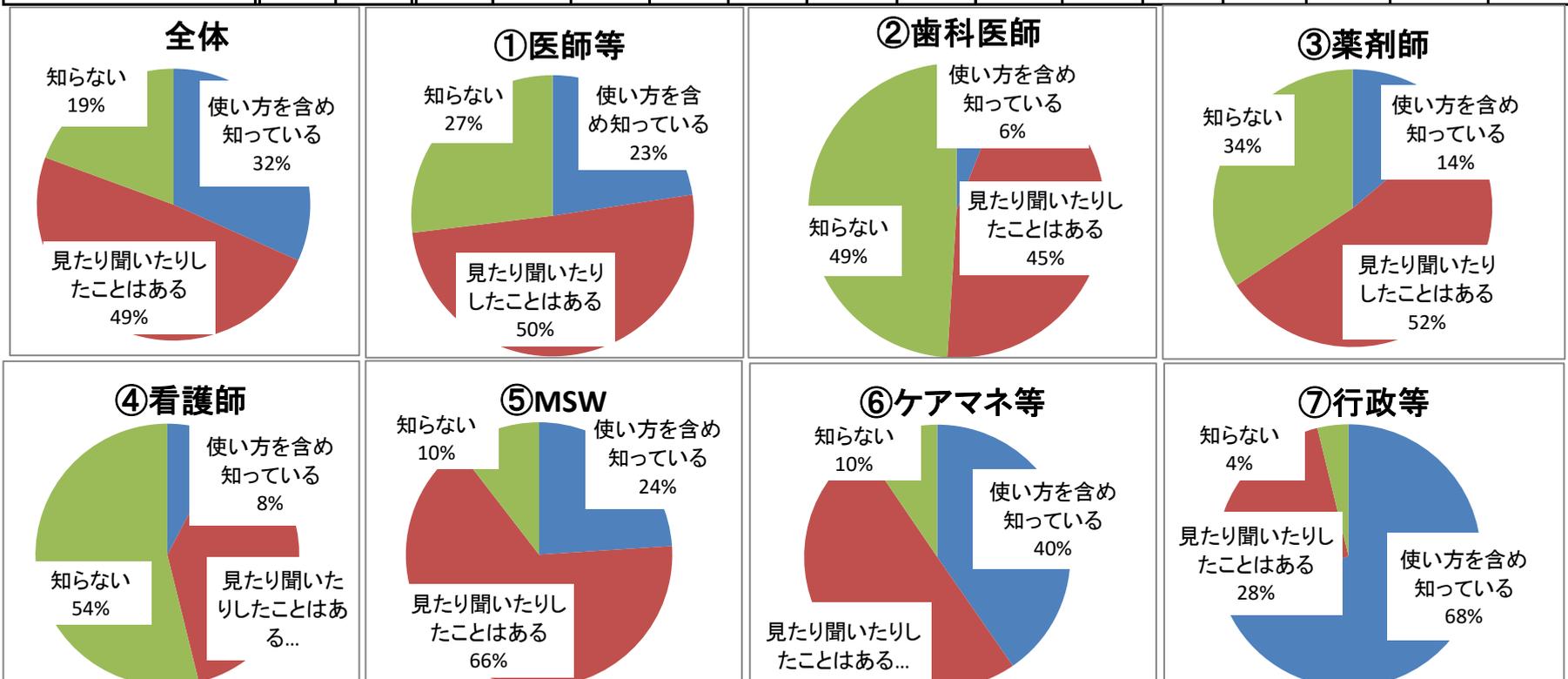
・ケアマネ等の介護支援事業者の回答数が最も多く、次いで薬剤師からの回答が多かったが、回答率で見ると行政等が最も高かった。

調査結果:

1 シートの認知度

※各調査対象における割合

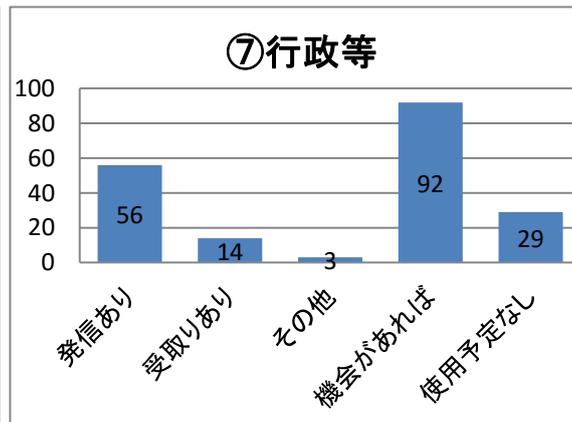
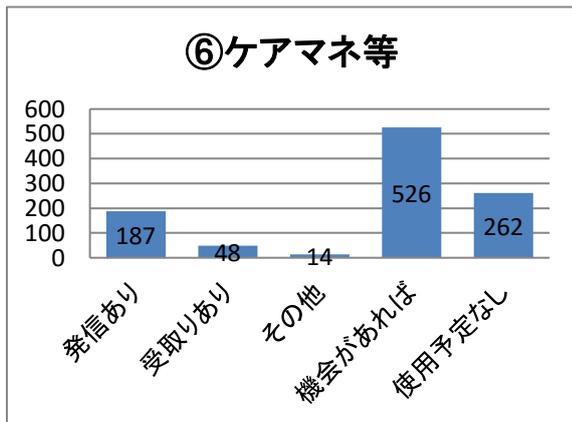
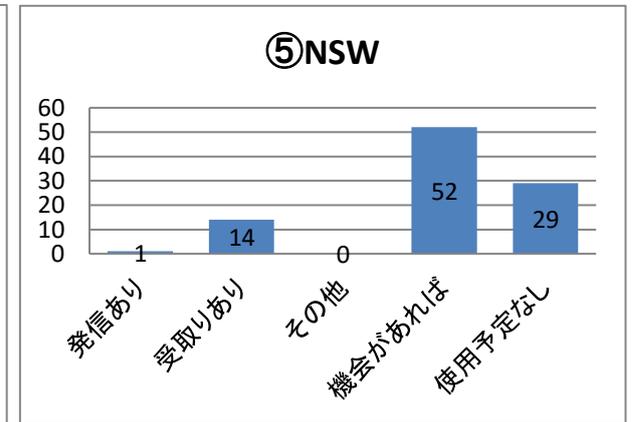
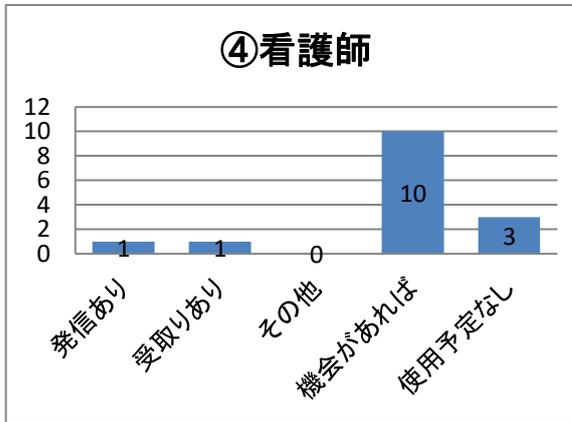
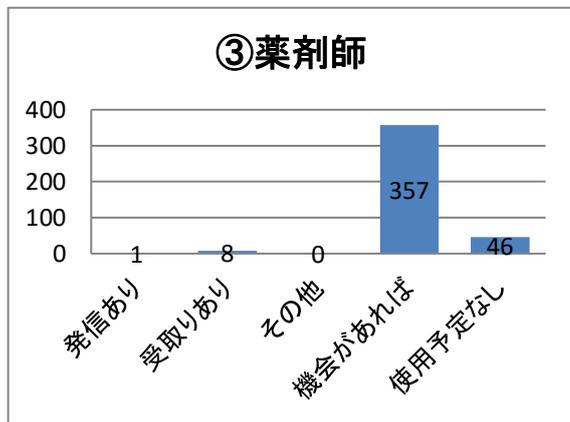
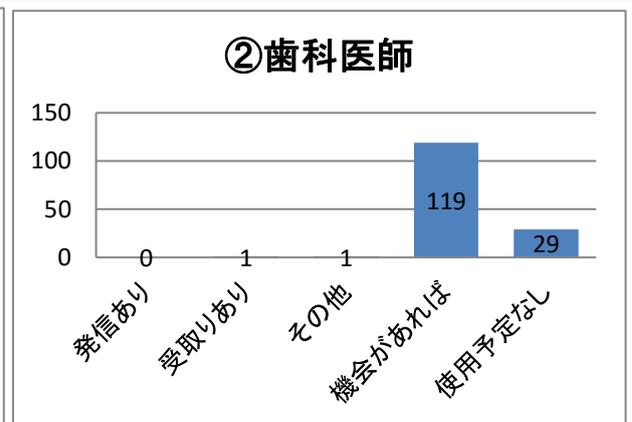
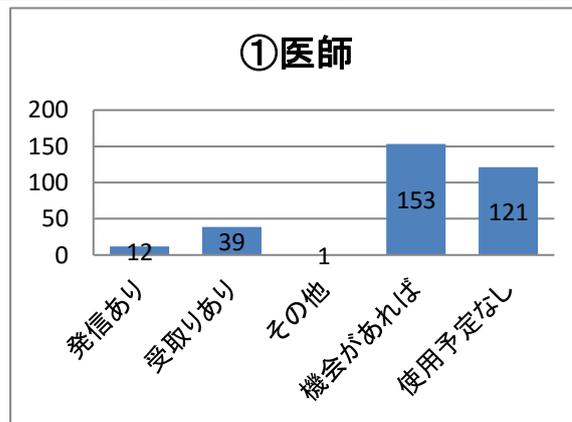
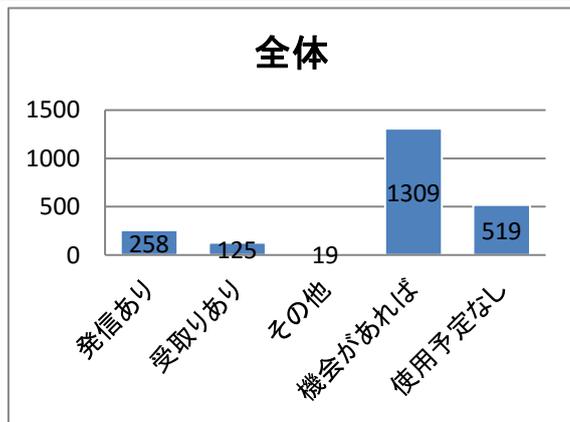
	全体	①医師等	②歯科医師	③薬剤師	④看護師	⑤MSW	⑥ケアマネ等	⑦行政等
使い方を含め知っている	690 31.6%	73 22.5%	9 5.9%	57 13.7%	1 7.1%	23 24.0%	401 40.3%	126 67.4%
見たり聞いたりしたことはある	1063 48.7%	163 50.3%	68 44.7%	214 51.4%	5 35.7%	63 65.6%	498 50.1%	52 27.8%
知らない	421 19.3%	87 26.9%	74 48.7%	142 34.1%	7 50.0%	10 10.4%	94 9.4%	7 3.7%



- ・「使い方を含め知っている」と「聞いたことがある」を合わせ全体の80.3%が、オレンジ連携シートを知っていた。
- ・行政等は「使い方も含め知っている」67.4%を占めた。
- ・看護師は50.0%の方が「知らない」と回答した。

2 シートの使用度（複数選択可） ※本質問の各回答数における割合

	全体		①医師等		②歯科医師		③薬剤師		④看護師		⑤MSW		⑥ケアマネ等		⑦行政等	
(1)発信したことがある	258	11.3%	12	3.5%	0	0.0%	1	0.2%	1	6.7%	1	1.0%	187	18%	56	28%
(片道):回数	627	—	25	—	0	—	1	—	2	—	10	—	459	—	130	—
(双方):回数	223	—	5	—	0	—	0	—	0	—	20	—	151	—	47	—
(2)受取ったことがある	125	5.5%	39	11.5%	1	0.3%	8	1.9%	1	6.7%	14	14.1%	48	5%	14	7%
(片道):回数	165	—	64	—	1	—	10	—	2	—	22	—	59	—	7	—
(双方):回数	58	—	29	—	0	—	2	—	0	—	0	—	15	—	12	—
(3)会議等で使用したことがある	47	2.1%	13	3.8%	1	0.7%	6	1.4%	0	0.0%	3	3.0%	20	2%	4	2%
回数	97	—	25	—	0	—	10	—	0	—	4	—	31	—	27	—
(4)その他の使い方をしている	19	0.8%	1	0.3%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	14	1%	3	2%
(5)機会があれば使いたい	1309	57.5%	153	45.1%	119	78.8%	357	85.4%	10	66.7%	52	52.5%	526	39%	92	32%
(6)今後も使用予定はない	519	22.8%	121	35.7%	29	19.2%	46	11.0%	3	20.0%	29	29.3%	262	59%	29	32%

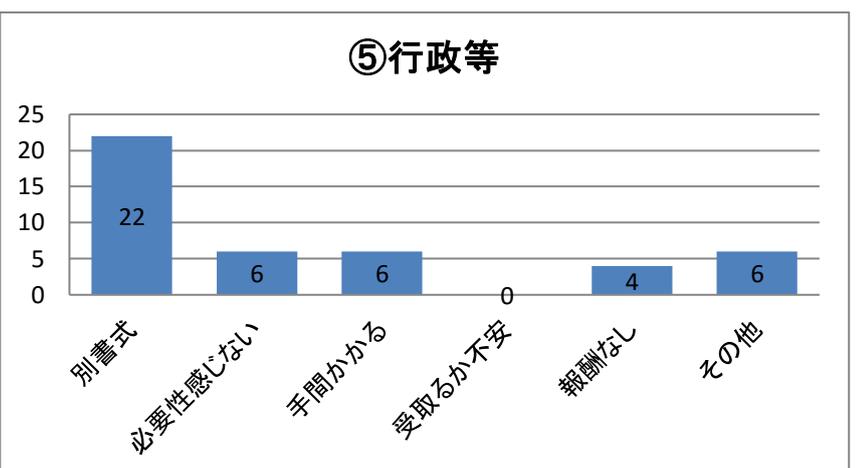
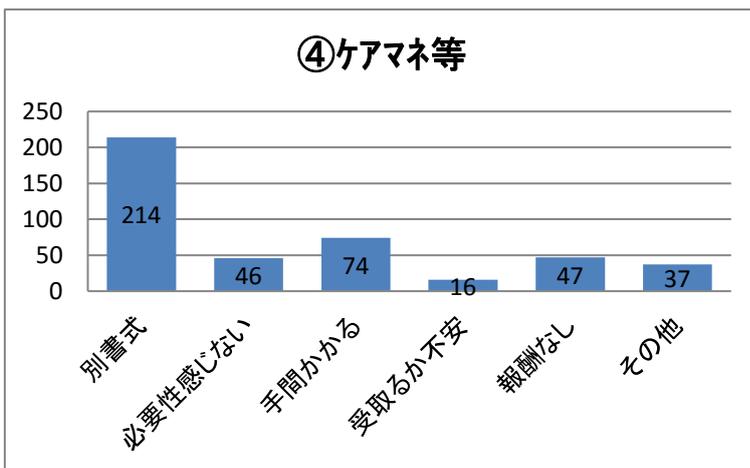
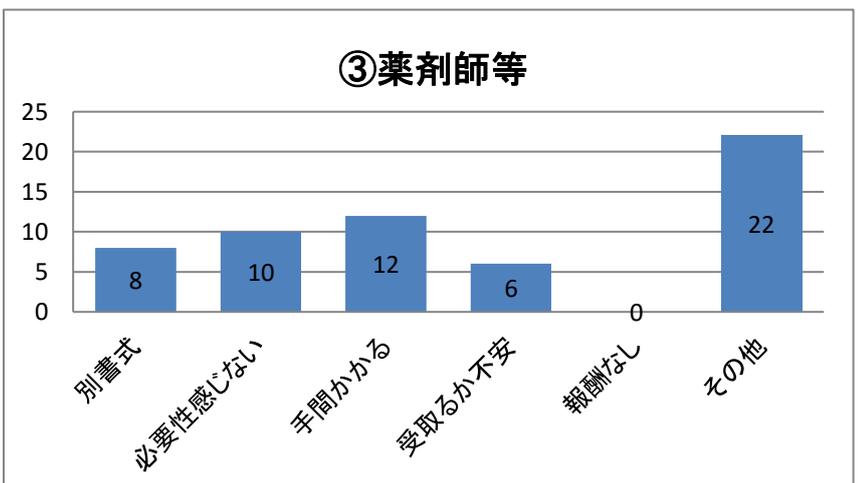
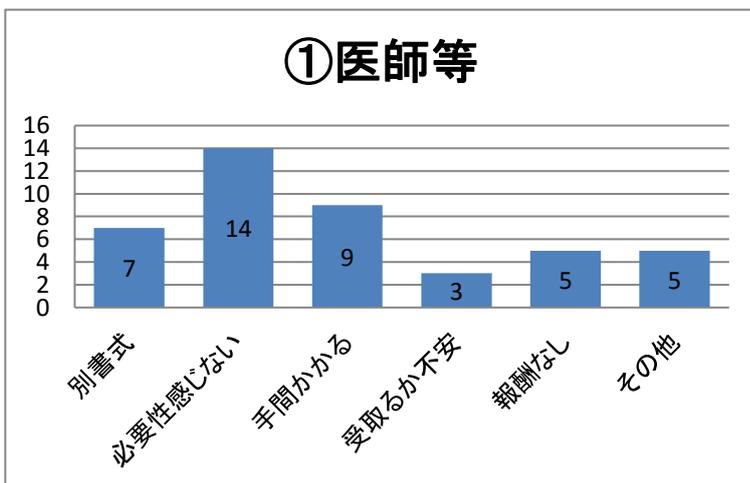
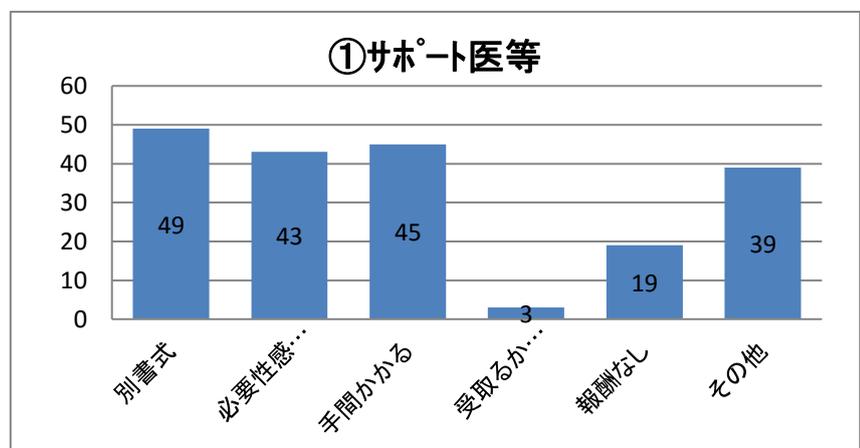
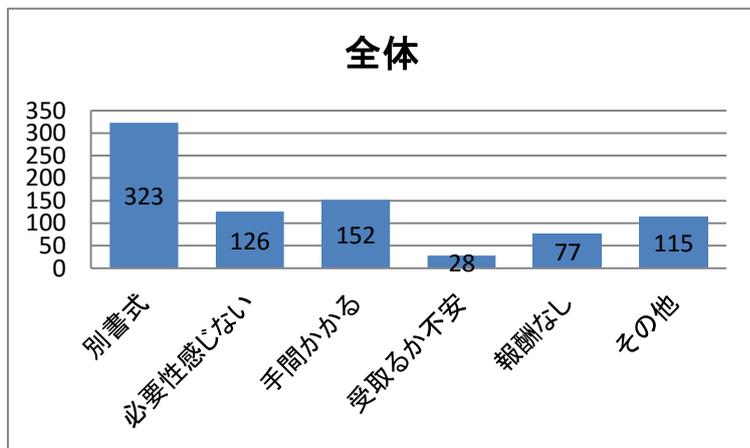


- ・「発信したことがある」と回答した割合は行政等が28%で最も高く、次いでケアマネ等が18%だった。
- ・「受け取ったことがある」は、MSWが14.1%と最も高く、次いで医師等が11.5%だった。
- ・「会議等で使用したことがある」と「その他の使い方をしている」は、行政等が最も高く両者を合わせると4%だった。
- ・「機会があれば使いたい」薬剤師が85.4%と最も高く、次いで「歯科医師」が78.8%だった。

(6)使用しない(困難)理由(複数選択可)	全体		①医師等		②歯科医師		③薬剤師		④看護師		⑤MSW		⑥ケアマネ等		⑦行政等	
別の書式を使用している	323	39.3%	49	24.7%	7	16.3%	8	13.8%	2	40.0%	21	53.8%	214	49.3%	22	50.0%
シートによるやり取りの必要性を感じない	126	15.3%	43	21.7%	14	32.6%	10	17.2%	0	0.0%	7	17.9%	46	10.6%	6	13.6%
記入が困難、手間がかかる	152	18.5%	45	22.7%	9	20.9%	12	20.7%	1	20.0%	5	12.8%	74	17.1%	6	13.6%
受取ってもらえるか不安がある	28	3.4%	3	1.5%	3	7.0%	6	10.3%	0	0.0%	0	0.0%	16	3.7%	0	0.0%
診療・介護報酬がつかない	77	9.4%	19	9.6%	5	11.6%	0	0.0%	1	20.0%	1	2.6%	47	10.8%	4	9.1%
その他	115	14.0%	39	19.7%	5	11.6%	22	37.9%	1	20.0%	5	12.8%	37	8.5%	6	13.6%

※本質問の各回答数における割合

その他の具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今時点では必要性を感じないが今後必要性があれば検討していきたい。 ・連携・共有と言いながら、独自の書式も多く、書式ばかりが増えている感があります。 ・地域連携シートだけでも内容が細かいので時間を要する。簡単なシートだけならよいが事務量が増える ・似通ったシートがあり統一できれば手間が少なくなると感じています
------------	--

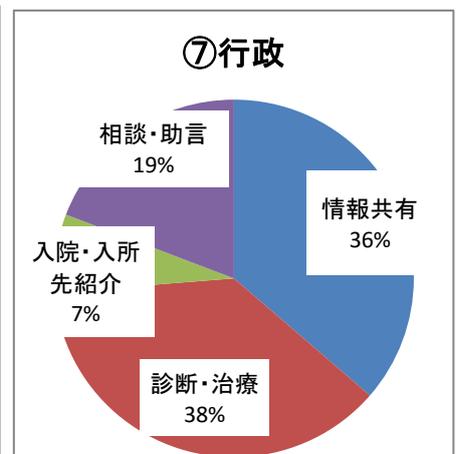
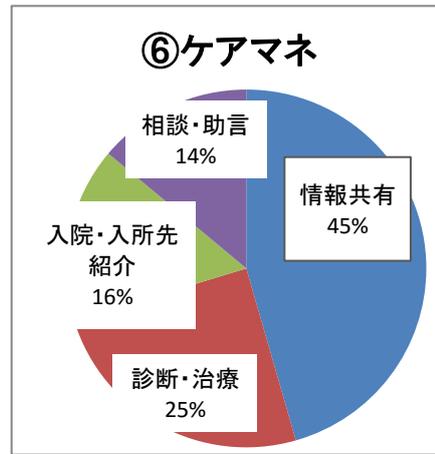
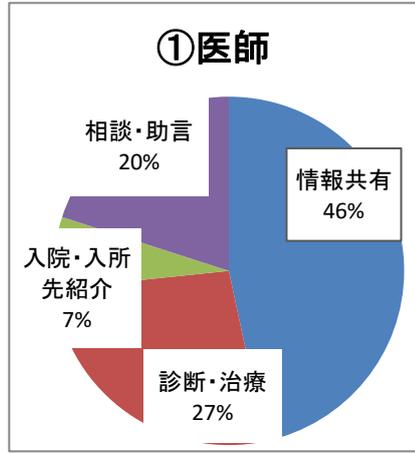
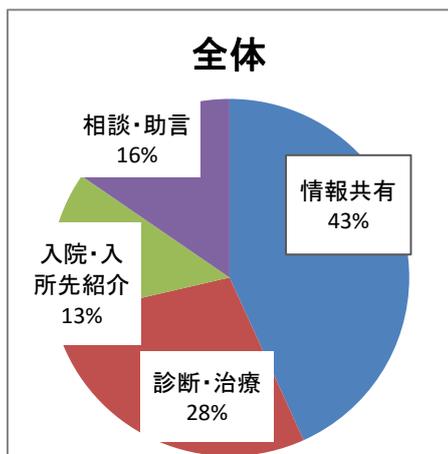


・地域生活連携シートや診療情報提供書、サマリー等の「別の書式を使用している」が39.3%と最も高く、次いで「記入が困難、手間がかかる」が18.5%、「必要性を感じない」が15.3%と続いた。

・「必要性を感じない」と回答した割合が最も高かったのは歯科医師で32.6%だった。

3 「2 発信したことがある」と回答した人のうち、発信の主な目的及び主な受信者(相手方) (複数選択可) ※ 本質問の各回答数における割合

発信の主な目的 (複数選択可)	全体		①医師等		②歯科医師		③薬剤師		④看護師		⑤MSW		⑥ケアマネ等		⑦行政等	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合
情報共有	163	45.9%	7	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	1	50%	118	45.6%	36	36.4%
回数	518	回	7	回	0	回	0	回	2	回	20	回	401	回	88	回
主な受信者(相手方)	医療機関、医師、MSW、ケアマネ、包括等		医療機関、ケアマネ、包括等		-		-		病院		医療機関、医師、		医療機関、医師、ケアマネ、包括等		医療機関、医師、ケアマネ等	
診断・治療依頼	106	29.9%	4	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	64	24.7%	37	37.4%
回数	178	回	6	回	0	回	0	回	0	回	20	回	93	回	59	回
主な受信者(相手方)	医療機関、医師、MSW、ケアマネ、市役所等		医療機関、認知症疾患医療センター等		-		-		-		物忘れ外来等医療機関		医療機関、医師、MSW、ケアマネ等		医療機関、医師、包括等	
入院・入所先の紹介依頼	50	14.1%	1	0.3%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	41	15.8%	7	7.1%
回数	111	回	2	回	0	回	1	回	0	回	0	回	99	回	9	回
主な受信者(相手方)	医療機関、医師、MSW、デイサービス等		医療機関、相談員等		-		医療機関		-		-		医療機関、医師、SW、CM等		医療機関、医師	
相談・助言	58	16.3%	3	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	36	13.9%	19	19.2%
回数	85	回	1	回	0	回	0	回	0	回	0	回	49	回	35	回
主な受信者(相手方)	医療機関、医師、MSW、包括等		医療機関等		-		-		-		-		医療機関、医師、ケアマネ等		医療機関、医師、MSW、包括等	

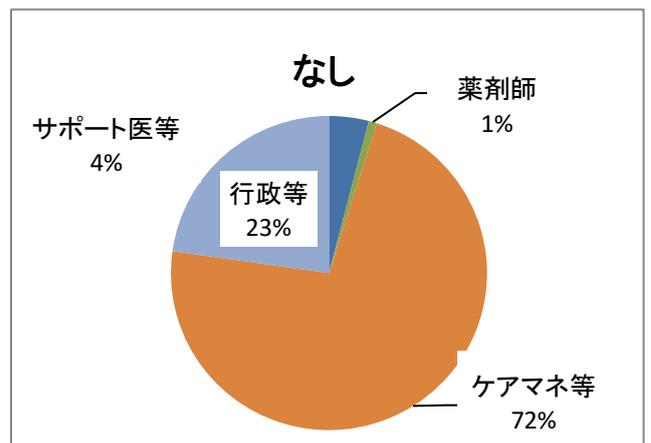
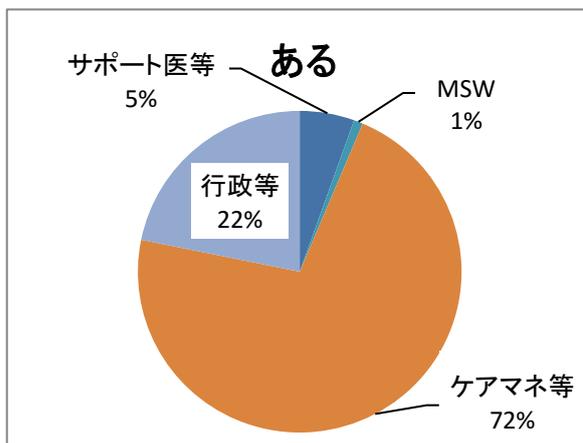
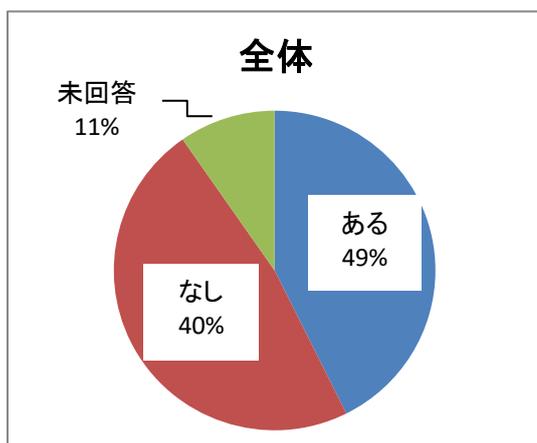


- ・「情報共有」を目的に発信しているが45.9%と最も多く、次い29.9%で「診断・治療依頼」が多かった。
- ・「入院・入所先の紹介依頼」は、14.1%で最も少なかった。

4 「2 発信したことがある」と回答した人のうち、双方向(返信要)シートの発信有無 ※ 『2 使用度』の「(1) 発信あり」における割合

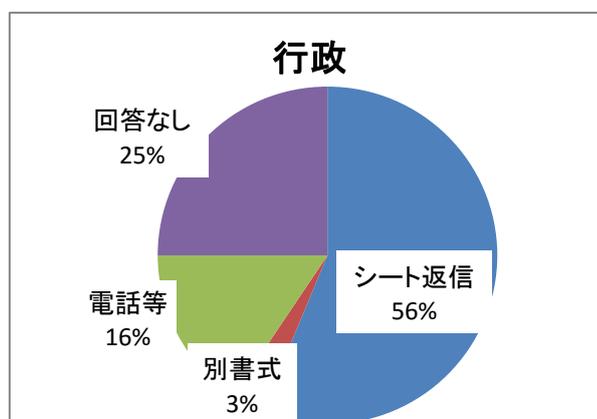
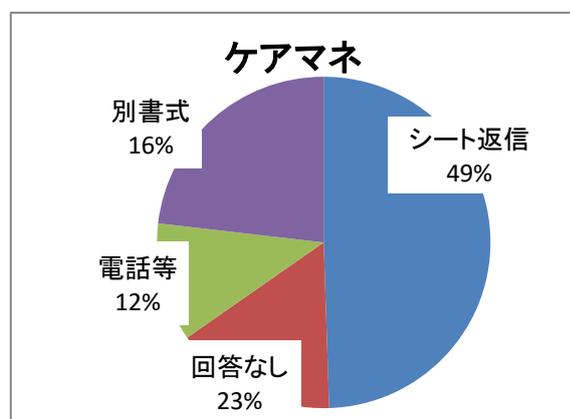
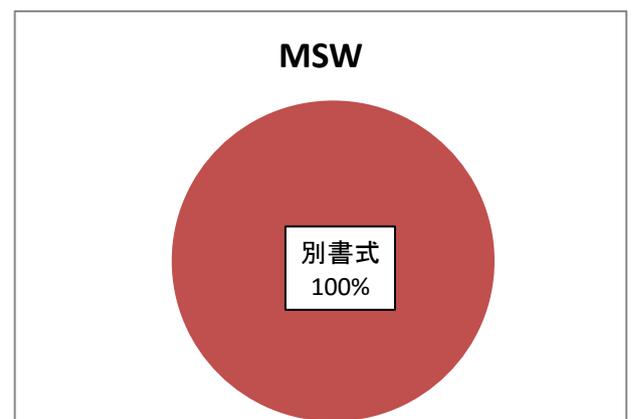
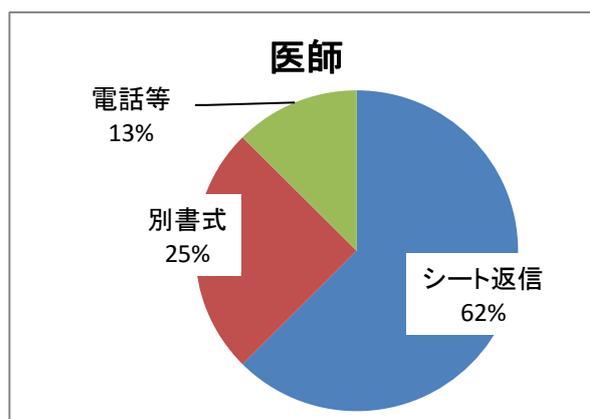
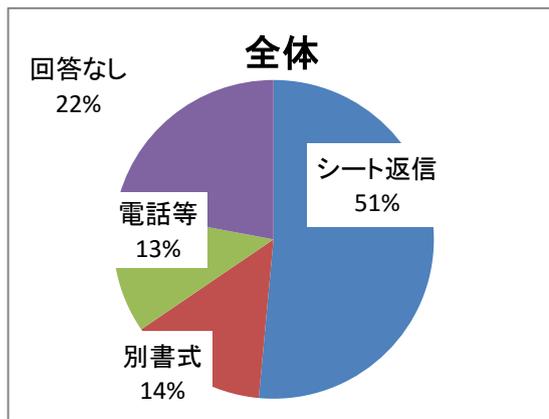
	全体		①医師等		②歯科医師		③薬剤師		④看護師		⑤MSW		⑥ケアマネ等		⑦行政等	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合
ある	110	42.6%	6	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	79	42.2%	24	42.9%
なし	123	47.7%	5	41.7%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	89	47.6%	28	50.0%
未回答	25	9.7%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	19	10.2%	4	7.1%

- ・「ある」と回答した割合は、ケアマネ等が72%と最も高く、次いで、行政等が22%と続いた。



5 「4 双方向(返信要)シートの発信あり」の内、相手からの返信有無（複数選択可） ※ 本質問の各回答数における割合

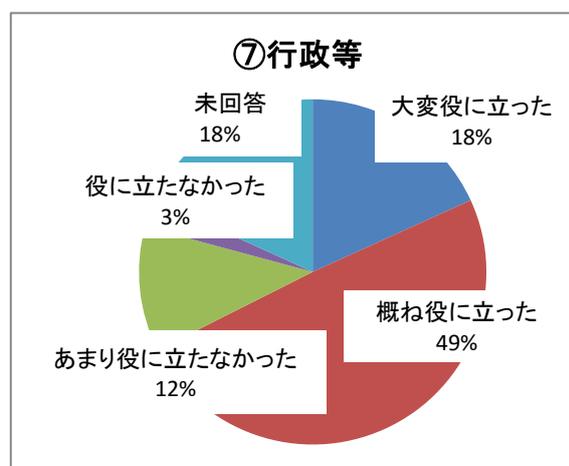
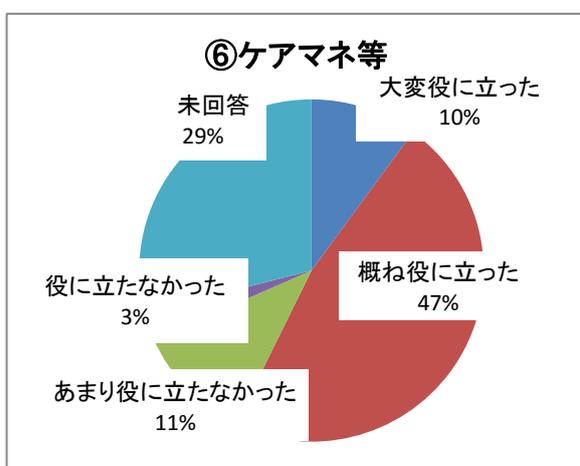
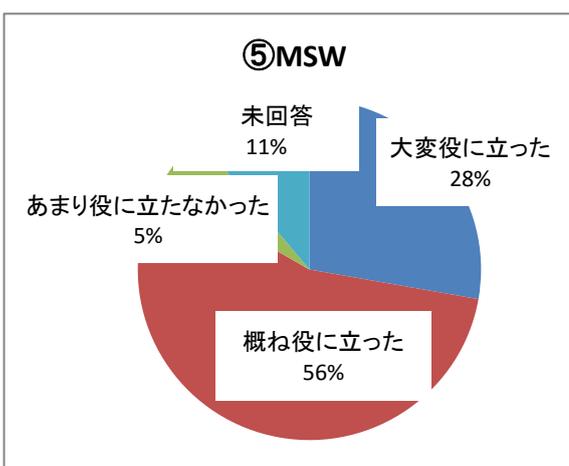
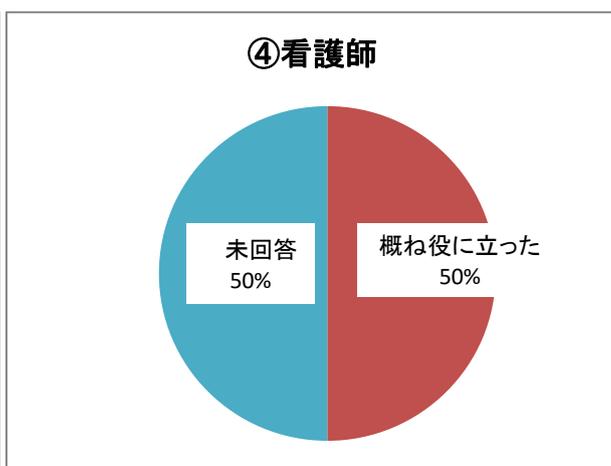
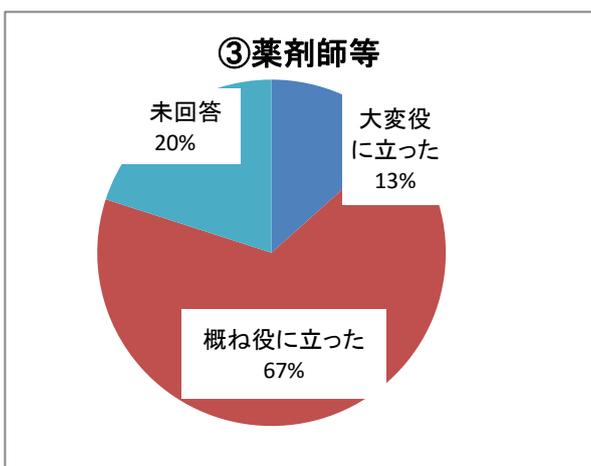
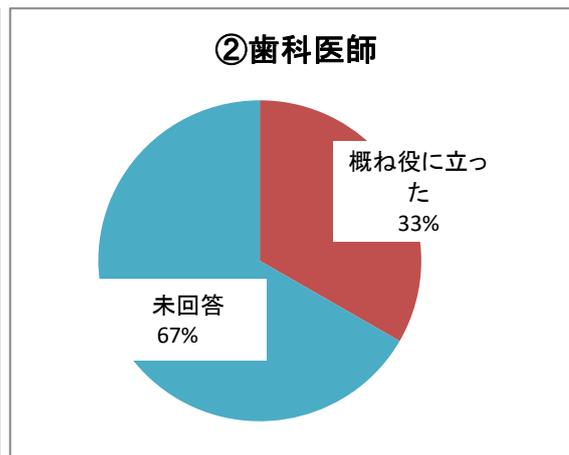
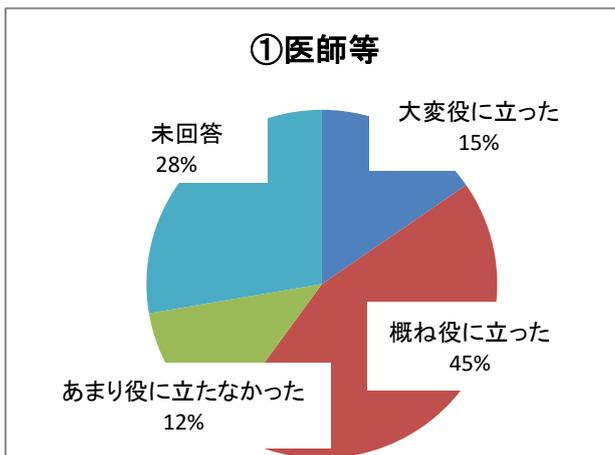
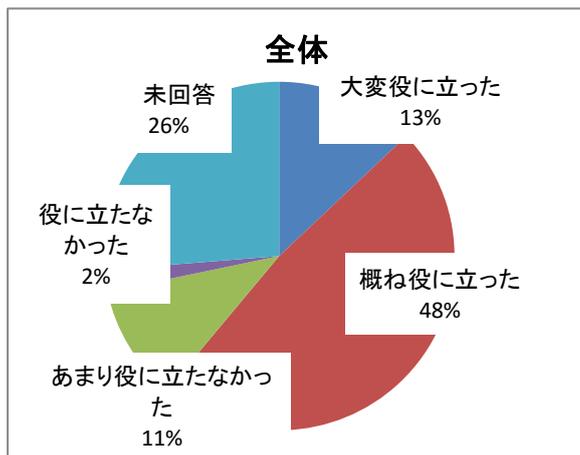
相手からの返信(複数選択可)	全体		①医師等		②歯科医師		③薬剤師		④看護師		⑤MSW		⑥ケアマネ等		⑦行政等	
(1)シート返信欄に記載し返信された	70	51.5%	5	62.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	47	49.5%	18	56.3%
回数	121回		3回		0回		0回		0回		0回		91回		27回	
主な受信者(相手方)	医療機関、ケアマネ		認知症疾患医療センター、ケアマネ		—		—		—		—		医療機関、医師、MSW、ケアマネ等		医療機関、医師、包括、看護師	
(2)診療情報提供書等別書式で回答があった	19	14.0%	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	15	15.8%	1	3.1%
回数	45回		3回		0回		0回		0回		20回		21回		1回	
主な受信者(相手方)	医師		医療機関		—		—		—		—		医療機関、医師等		—	
(3)電話等により回答があった	17	12.5%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	11	11.6%	5	15.6%
回数	23回		0回		0回		0回		0回		0回		15回		8回	
主な受信者(相手方)	ケアマネ		—		—		—		—		—		—		医療機関、包括	
(4)回答がなかった	30	22.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	22	23.2%	8	25.0%
回数	76回		0回		0回		0回		0回		0回		67回		9回	
主な受信者(相手方)	医療機関、医師		—		—		—		—		—		医療機関、医師		医療機関、医師	



・「シート返信欄に記載し返信された」が51%と最も高く、次いで「回答がなかった」が22%、「別書式で回答があった」が14%、「電話等により回答があった」が13%と続いた。

6 有用性 ※ 『2 使用度』の(1)～(4)における割合

円滑な支援や関係づくりに役立ったか	全体		①医師等		②歯科医師		③薬剤師等		④看護師		⑤MSW		⑥ケアマネ等		⑦行政等	
大変役に立った	58	12.9%	10	15.4%	0	0.0%	2	13.3%	0	0.0%	5	27.8%	27	10.0%	14	18.2%
概ね役に立った	216	48.1%	29	44.6%	1	33.3%	10	66.7%	1	50.0%	10	55.6%	127	11.8%	38	14.8%
あまり役に立たなかった	48	10.7%	8	12.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%	30	6.8%	9	9.9%
役に立たなかった	9	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	2.6%	2	2.6%
未回答	118	26.3%	18	27.7%	2	66.7%	3	20.0%	1	50.0%	2	11.1%	78	29.0%	14	18.2%



・「概ね役に立った」と「大変役に立った」を合わせ、全体の61.0%が有用と回答している。

・「あまり役に立たなかった」と「役に立たなかった」は合わせて12.7%だった。

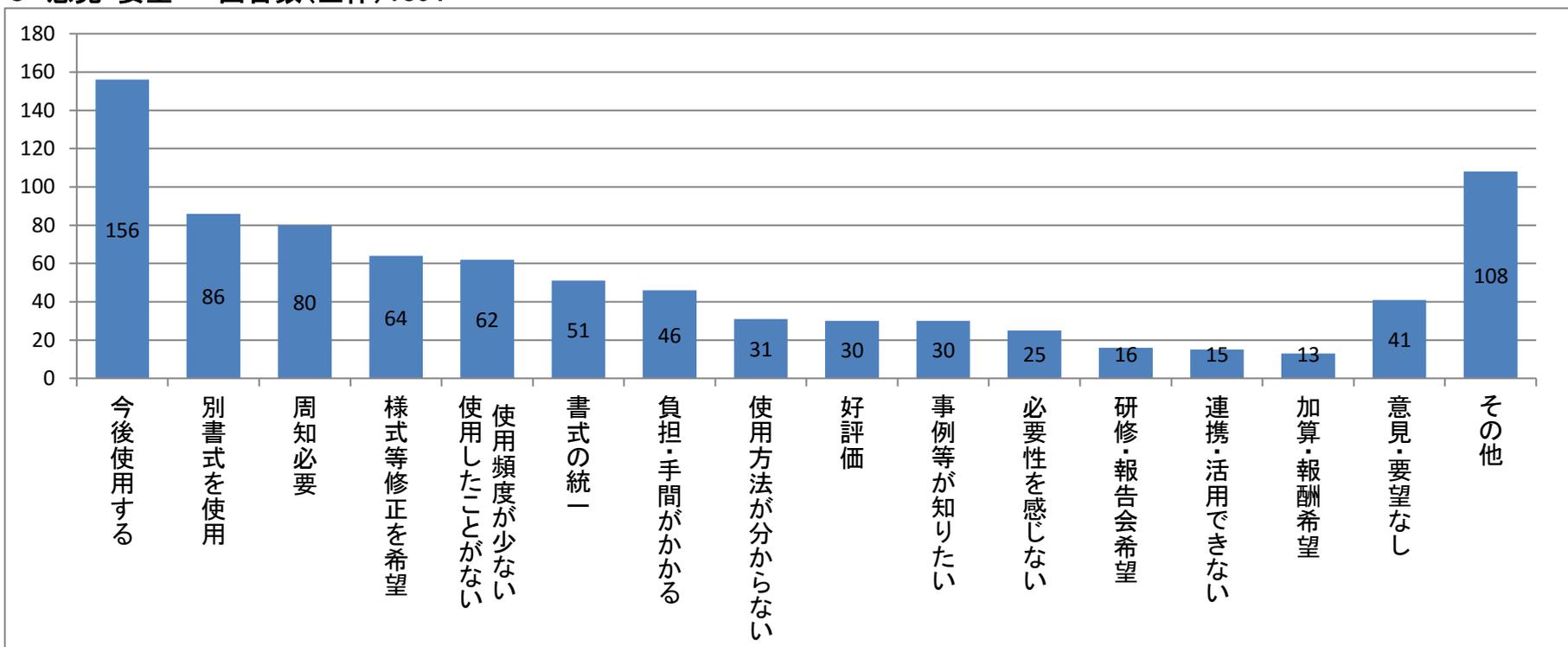
7 役に立った例 回答数(全体):149件

・受けとる側は家族や主介護者・生活の状況が把握できるので良いと思います。	医師
・ケアマネージャーからこのシートで情報提供を頂きました。詳細な部分まで知ることが出来、役立ちました。	医師
・本人や家族からの病歴聴取がしやすかった。発信者の意図、病歴、問題点がわかりやすい。	医師
・利用者様との初回面接前に情報として提供頂けた事により、より具体的なサービスの計画を立てる事ができた。	薬剤師
・地域包括支援の会議で利用しましたがこの一枚で概ねその方の状態が把握できて、イメージしやすかった。	薬剤師
・患者の状態が一目でわかるように記載できる。評価しやすい。	薬剤師
・訪問の薬剤師だと情報が少なく、少しでもあると助かる	薬剤師
・認知症である事を強調する為に使った。	看護師
・決まった用紙でのやりとりなので見やすくわかりやすい。どんな内容をお知らせしたらよいのか誰でも理解できる。	看護師
・主治医意見書の作成にシートの情報を反映できた。	MSW
・電話などのやり取りが少なくてもすむので、情報が簡潔にまとまっていること。	MSW
・入院前の自宅での様子がよく分かり助かりました。	MSW
・精神科病院勤務中にケアマネージャー等からうけとっていた。生活状況や求めるものがよくわかった。	MSW
・情報を共有することができ、診断・治療することができた。又、後見人制度に繋げることができた	ケアマネ
・徘徊などの問題行動を医療機関に連絡することで、入院中の転倒事故を防ぐのに役立ったと思う。	ケアマネ
・受診に同行する際に事前にDrへ情報提供を行い薬の変更を御検討いただいた。(本人の前では伝え難いだったのでシートを使った)	ケアマネ
・ご本人の状態が再確認でき、それによりご家族と情報共有でき、サービスの活用するにあたり役立った。	ケアマネ
・シート受取者のサインが返信された。その担当の方には、その都度連絡しながら入院中の様子や今後の退院予定をその都度聞くことができた。	ケアマネ
・コロナウィルスの為入院中の利用者様への面会が出来なくなった。その為情報共有のツールとして役に立った。	ケアマネ
・病院受診前に本人の認知症の症状を伝えることができ、受信先の病院より「助かりました」と連絡がきた。	ケアマネ
・会議の場での情報共有、医師の意見を確認でき記録に残せた、ケアプラン作成時に活用	ケアマネ
・病院から診断内容を報告いただき、その後の担当者会議での活用やその後のケアで活用できた。	ケアマネ
・患者様の身体状況を正確に医師に情報提供できた。	市町村
・家族の訴えが不明瞭であったので受診に対して補足的情報提供として使用した。介護保険主治医意見書に対応した確定診断について意見書作成時の状況に変化があり、受診において、家族を仲介しての意見伺いのため双方向発信することで診療、支援に役立てる情報を共有する事ができた。	市町村
・認知症初期集中支援チーム員間の情報共有に役立っている。	市町村
・認知症初期集中支援チームで支援中の対象者の受診について、紹介状の代替としてチーム医師の見解もふまえて作成した。	市町村
・主治医に伝えるのに、診察時間が短く、また本人が診察しているため、家での内容を伝えるのにとっても有効だった。	市町村
・身寄りない独居の高齢者で、本人は全く自覚がないため、受診時に物忘れの話を出すことが出来なかった、事前に連携シートを利用し、現在の症状や困り事等を医師に伝えることが出来たので、スムーズに診断につながった。	市町村
・主治医の医療的な見解や治療方針などの共有が図れ、支援方針が明確になった。認知症初期集中支援チームと主治医との連携の際に活用することができた。	市町村
・受診前にチーム(初期集中チーム)に相談する時に情報共有に役立った。	市町村
・認知症専門医への受診の際に使用。医師も理解されておりスムーズな連携につながっていると感じる。	市町村 等

8 役に立たなかった例、困難が生じた例 回答数:53件

・記入箇所が小さい	ケアマネ
・服薬情報提供書と一緒にシートを添付したが、病院からは何の反応もなかった。	薬剤師
・特にないが普段作成しているフェースシートとの差があまりない為出来ているフェースを利用したり、「千葉県地域生活連携シート」を使用する方が多い。	ケアマネ
・記入量が多いこと、他の情報提供書の内容と重なること。提供先の医療機関がシートについて理解してなかった。 (→受け取りを拒否された)	ケアマネ
・ケアマネ支援で利用しました。記入に時間がかかった。	市町村
・診断依頼、相談のため精神科の病院へ持参したことがありますが、MSWがオレンジシートの存在を知らず、シートではなく診察室で直接伝えてとシートを受け取ってもらえない時がありました。	ケアマネ 等

9 意見・要望 回答数(全体):854



- ・オレンジ連携シートを「今後使用する」との意見が156件と最も多く、「好評価」は30件で、計186件が好意的だった。
- ・地域生活連携シート等の「別書式を使用」との意見は86件であり、次いで「周知必要」が80件であった。
- ・「様式等修正を希望」は64件であり、「書式の統一」51件、「加算・報酬希望」14件とシートに関する改善の意見は計129件だった。
- ・「事例等が知りたい」30件、「研修・報告会希望」15件といった、活用内容に関する意見は計45件だった。
- ・「使用頻度が少ない・使用したことがない」62件・「負担・手間がかかる」46件・「使用方法が分からない」31件・「必要性を感じない」25件

【今後使用する】 156件

・介護の必要な方は、口腔ケアも怠りがちですので、できるだけ積極的に協力していきたいと思います。介護者の生活支援のためにも今後連携の際は活用したいです。	歯科医師
・歯科でのシートへの関わり方が難しいと思っていました。保険で定められた書類の中に必要事項と記載したり直接電話連絡したりとそれで不便はなかったですが、きっかけがあれば利用したいと思っています。	歯科医師
・介護の必要な方は、口腔ケアも怠りがちですので、できるだけ積極的に協力していきたいと思います。介護者の生活支援のためにも今後連携の際は活用したいです。	歯科医師
・県内で共有できるこのようなシートがあることは大変良いと思います。今後できるだけ利用していきたいと思います。薬剤師含め多くの連携機関への周知を引き続きよろしくお願い申し上げます。	薬剤師
・シートがあるとある程度情報が整理されるのでよいと感じました。気になる方がいらっしやるので、活用できればと思います。	薬剤師
・認知症の患者様、ご利用者様はますます増えるので、このような連携ツールが特別なものではなく、運用されていくよう、日頃から使わせて頂こうと思います。	薬剤師
・内容としては、看護サマリー、施設のサマリーに重複している面もありますが認知症の患者のアセスメントとして細かい情報が記載されているため活用してみたいと思いました。	看護師
・オレンジシートについて認識がありませんでした。今後、連携等に活用出来たらよいと思います	看護師
・地域生活連携シートは活用しているが、オレンジ連携シートとの使い分けがむずかしい。実際に使ったこと、受け取ったことはないが、機会があれば使ってみたい。	MSW
・退院支援の際に、認知症について情報提供をしたいことがあればぜひ活用させていただきたいです。	MSW
・自業務で担当する利用者の認知症状について伝える際に活用したい。又、医療機関入院中に把握された認知症状について発信してもらいたい。	ケアマネ
・千葉県地域連携シート(入退院時用)は現在使用しています。オレンジシートも多職種での連携をする上で情報共有ができ、在宅での生活を送る上で関係機関での本人へのアプローチ統一を図る事ができると思います。是非使用してみます。	ケアマネ
・認知症利用者を支援していくための情報を医療機関と双方向で共有するために良い書式だと思います。今後機会があれば活用していきたいと思っています。	ケアマネ
・以前、病院から初診前に記入を依頼され、初診とその後の連絡もスムーズにできたので、今後も利用する機会があれば、積極的に利用したいと考えています。	ケアマネ
・まだ取り扱うケースが無いが、今後対応する機会があれば使用していきたいと思う。	ケアマネ

・今回アンケートを回答したことで、オレンジ連携シートを詳しくみる機会になりました。今まで活用したことがなかったのですが、これを機につかってみようと思っています。	ケアマネ
・とても良い連携シートだと思います。機会があれば使いたいと思います。	ケアマネ
・直接、医療機関と連絡する際には、相談機関として家族を介して情報を伝達しておりますが、家族が居ない方などの場合は直接受診に同行して説明をしております。状況に応じて使用していきたいと思います。	市町村
・電話でのやりとりの方が互いに質問や伝えたいことが早く伝えられると感じていましたが、認知症の方が増えてきているため、千葉県オレンジ連携シートを活用することで、関わっている全ての他機関との連携に活用していきたいと改めて感じました。	市町村
・改めて内容を確認させていただきました。情報共有に活用させていただいたと思います。	市町村
・認知症初期集中支援へ依頼時に活用を検討	市町村 等

【別書式を使用】 86件(内 千葉県地域生活連携シート使用 38件)

・介護事業者からの入所者の診察依頼は、口頭、紹介状、施設独自の連絡票であり、オレンジ連携シートによるものは見たことがない	医師
・本人・家族の同意をとらずに、オレンジ連携シート以外の形式で、依頼された事があります。本人・家族の同意、患者負担を考慮し、本連携シート以外の連絡になっているのではないかと思います。	医師
・門前や近隣の病院とは別の様式の書類で報告等を行っています。	薬剤師
・内容はほぼ同じだが、各担当者、施設で違う様式のものを使っている。	薬剤師
・院内では、地域生活連携シートはかなり普及しており、電子カルテにCMから受け取るとすぐに取り込み活用しています。これまでにオレンジ連携シートを受け取ったことはなく(記憶違いかもしれませんが)良点が実感できないのだと思います。	MSW
・入院時の情報提供はケアマネより地域生活連携シートをもらう。退院時の情報提供はMSWからは口頭で、また看護師より看護サマリーを渡している。	MSW
・地域生活連携シートを活用することが地域で定着してきているため、現在のところでは、オレンジ連携シート利用は考えられないが、生活連携シートの不足や追記の際に参考となります。	ケアマネ
・入院時連携シートの活用により必要情報を医療機関に報告でき、他サービス事業所については詳細アセスメントの提出をもって情報の共有ができる為	ケアマネ
・他のシートを使用する事が多い為オレンジシートを使用する機会がない状況です。(独自のシート、地域生活連携シートなど)	ケアマネ
・主に病院から入院後シートを送ってほしいと言われるので、そちらを使うことが多いです。	ケアマネ
・要支援認定の方にて、地域生活連携シートの活用となっている事、情報送っても返信がない場合や、サマリーを頂く形が多い	市町村
・記入する欄が多く、手間がかかるため、佐倉市独自で作成した共通連絡票を使用することが多いです。	市町村
・医療機関とは県の連携シートが主流になってきたのでそっちを使うことが多い。認知症の相談はかなり個別性が高いので直接Drと電話やメールのやり取りをすることが多いので書類はADL表を送るくらいになってます。	市町村
・入院の時は地域連携シートを使っています。退院にあたり、医療機関からもらったことはありません。	市町村 等

【周知必要】 80件

・自分も含め、「シート」の認知度が低いため、まだ有効な活用に至っていない気がします。	医師
・名前だけで、内容は初めて見ました。地区の歯科医師会を通して使い方マニュアルや周知をお願い出来ればと思います。	歯科医師
・まだまだ「千葉県オレンジ連携シート」が県民に知られていないと思います。医療機関や薬局に県民(患者さま)に周知できるポスターをいただくと助かります	薬剤師
・施設から入院する事がありますが、今まで連携シートを見た事がないです。もっと一般的に使用が広まれば、病院からも使用できると思います。	看護師
・「千葉県地域生活連携シート」はケアマネージャーさんから受けとることは多々あるが、病院側から発信することがなくまだ病院の中での認識が弱いと感じる。「オレンジ連携シート」は更に認知度が低く今後どのように認知度を高めていけばよいか、医療、介護、福祉それぞれで共有できるといいと思う	MSW
・毎年アンケートに回答にしていますが、なかなか現場では普及している感じがしません。機会があればぜひ利用したいと思います。	MSW
・活用するのがケアマネだけでなく、他の関連機関の方達も活用してもらえよう周知に努めてもらいたいです。	ケアマネ
・あれば、千葉県内の医療機関で利用できるものだと認識しているが、実際はそこまで普及していないと思われるため、積極的な利用に結びつかない	市町村
・連携シートがあることを知っている人は多いものの、使用頻度が少ないようです。「千葉県地域生活連携シート」のように病院が使用するようになると使用する機関が思います。	市町村
・認知症疾患医療センターへの受診の際に、使用する事がありますが、他の医療機関ではあまり使用されていない気がします。どこまで周知されているのか不明なのでこちら送らない事が多いです。	市町村 等

【様式等修正を希望】 64件

・医師に対しては意見書の内容にそった項目を入れて欲しい。緊急度、近所迷惑の有無があるといいと思う	医師
・企画は結構なことですが、日々の業務に追われ、更に負担になる作業の追加は希望しません。とかく形式的になることが多く、役に立つより負担が増えるので、できるだけシンプルなものにすべきです。	医師
・歯科医師の立場からは、以下の様な追加情報が必要と考えます。 定期的な歯科受診の有無、義歯の使用について、摂食嚥下障害の有無	歯科医師
・目的①に「薬について」を追加すると薬剤師に相談しやすくなるのではと思います。	薬剤師
・裏面が文字が多く非常に見づらい。①②③④⑤やアイウエオとか全部に入っていて分かりにくい。	薬剤師
・患者情報の項目が増えるとデメリットになりますが、嚥下についての記載があっても良いのかなと思いました。(剤形の選択や、錠剤のp粉碎等に)	薬剤師
・他の書類が多く手が回らない。簡素化が必要ではないかと思えます	ケアマネ
・チェック項目がもう少し具体的な内容の方が、依頼や相談内容が書きやすいと思う。(相手に伝わりやすいと思う)	ケアマネ
・記入欄が小さく、記入しづらい	市町村 等

【使用頻度が少ない・使用したことがない】 62件

・使用するのは問題ないが介護事業所が少なくともこの地域ではあまり使用しているように見えない。医師よりもケアマネージャーなど介護事業所のスタッフが使いやすいことが重要ではないか。	医師
・使用したことがないのでよくわかりません。	医師
・一般歯科診療所なので、今のところ、認知症の患者さんが来られても、家族、その他の付き添いがあり、オレンジシートを利用しなくとも、歯科治療に必要な情報が入るケースばかりである。往診も行っているが、同じような状況。実際利用には至っていないが、役に立つものとは考えている。	歯科医師
・柏市モデルがあるため、使用頻度が少ないと思います。	薬剤師
・今の所在宅患者様の訪問服薬指導は行っておりますが、認知症支援を受けておられる方はいらっしゃらないので、まだオレンジシートの活用はしていません。今後は利用させて頂く可能性もあると考えております。	薬剤師
・受けとったことがないのと、入院患者に認知症メインの方がいないため、利用機会がないが、対象となる方がいたら使用したい。ただ当センターで作成しているサマリーや地域生活連携シートにてカバーできるため使用機会がないかもしれないです。	MSW
・業務として「千葉県オレンジ連携シート」で情報交換を受けたことが一度もない。情報共有が必要な時は使用していこうと思	ケアマネ
・数年前まで、認知症疾患医療センターとの情報交換、質問等に利用していましたが、最近は口頭でのやりとりが多く、使用していません。	市町村 等

【書式の統一】 51件

・県パスも「さくらパス」に準じて統一した方がよいと思います。	医師
・地域生活連携シートと統合できないですか。・お薬手帳と同じサイズの手帳にして、あわせて本人に持ってもらうのはいかがでしょうか。	医師
・既に介護保険を利用している場合は、それぞれの施設やケアマネさんなど、各々の書式があるかもしれません。記入する書類が増えるのは大変なので、全部統一で使えるものがあるといいです。	薬剤師
・千葉県地域生活連携シートがかなり活用されており、当院からの情報発信はB表を使用している。統合できるとより活用がすすむと思われる。	MSW
・病院が勤務地のため、ケアマネとの連携でケアマネの書式でシートをやりとりすることがほとんどである。今まで勤務していてオレンジシートの活用はない。様々なパス・シートがありうまくとり入れながら、また書式を組み合わせると(一つにする)いいかと思った。	MSW
・連携シートが複数あるため統一したシートを使用できるような仕組みが必要。シート作成に手間がかかる	市町村 等

【負担・手間がかかる】 46件

1. 記入組がやたらに多く、記入者(主にケアマネ)の負担となっている2. 多い記入項目が統計処理されているとは思えず、ムダな労力となっている3. 医師としては紹介状のやりとりに慣れており、その方が手取り早く情報がつかめる4. また、直接診察すればADCやIADLも把握可能である。5. 入力、記入された情報(細かな情報)の中には、日々症状が動く場合も多く、そこに手間をかける意味はないと考える6. 現場ではとにかく書類が多くなっており、専門職を事務員化している	医師
・流山では薬局と包括支援センター間での認知症早期発見の活動を行っている。薬局で心配だと思う高齢者を包括につなぐ活動であるが、オレンジ連携シートよりもずっと簡単なしくみとなっている。オレンジ連携シートは記入の手間がかかるのが欠点かもしれない。	薬剤師
・加算等の報酬の算定に使用できるともって使用すると思うが、他の書式と同時の作成は手間がかかりすぎる。	ケアマネ
・記入にとっても手間がかかり緊急的には利用しにくいです。	市町村 等

【使用方法が分からない】 31件

・具体的にどのような有効なやりとりができるのか。イメージがまだ持てないでいます。	歯科医師
・実際の運用の流れが見えてこないです。	薬剤師
・オレンジ連携シートの利用方法が、わからない。高齢者が増える中、認知症の進行の情報は、仕事をする上で、とても大切だと思っています。今後、少しずつ利用していきたいと思っています。	薬剤師
・地域連携シートみたいに利用する目的等が明確であれば使いやすいが、どういう場面で使用する必要があるかわからない。	ケアマネ
・千葉県地域生活連携シートと重なる部分もあり、使用する際に何を作成したらよいのか悩んでしまうといったことを耳にします。使用方法等を再周知して頂けるとありがたいです。	市町村
	等

【好評価】 30件

・とにかく大事な情報です。少なくとも当院では大いに活用させて頂いています。ソーシャルワーカーの立場としても、正確な情報があることは支援に大変役立ちます。家族からの情報に加え、他視点からの情報は、問題を客観視し、正確に捉える為に重要と考えています。	医師
・認知症にかかわらず、在宅支援や介護保険取得された方の利用指標のための確認しておきたい事として使用できそうです。	薬剤師
・連携シートは色々な種類があるのでオレンジ連携シートがあれば認知症に特化した情報が得やすいと思います。	看護師
・入院、施設入所等で、ご本人を取り巻く環境が変わった時に、認知機能の変化がみられた時には、入院前、施設入所前の情報として価値があると思います。	MSW
・相手方に情報提供する事により、より一層知る事ができる。色々な面で大切に思う。	ケアマネ
・内容的には、記入もれもなく、利用しやすい書式と思います。発信には、使い慣れた書式が時間も短く、記入できるので使いやす	ケアマネ
・アセスメントや相談内容もまとめやすく、返信頂く際も記入頂きやすいので良いと思います。記入要項や内容ボリュームも使い易いです。	市町村
・普段伝えることができない症状や、家族の困りごとを、オレンジシートを使用することで、担当医に伝えることができた	市町村
・昨年度は使用実績がありませんが、過去に使用し、双方向で対応いただいた際は大変よかったですと感じました。ただ普段使用していないとどうしても忘れがちになってしまうシートだと思っています。	市町村
	等

【事例等が知りたい】 30件

・実際にどういう場面で使うのかが分からないので事例があつたら手順も含めてお教え頂きたい。	薬剤師
・病院や施設で「千葉県オレンジ連携シート」をどのような方に利用してるのか具体例を知りたいと思いました。	看護師
・役に立った具体例が知りたいです。	ケアマネ
・きちんと使用のイメージがついておらず、まだ使用しておりませんでした。すでに出ているかもしれませんが(発見できず申し訳ありません)、使用事例等があれば、活用方法のイメージがつきやすく活用をさせていただきやすく感じました。	市町村
	等

【必要性を感じない】 25件

・診断依頼等は通常の診療情報提供書でも十分に足りうる、あえてオレンジシートを使うメリットは少ない気がする。	医師
・歯科診療においては、認知症者の通院時には介護者もしくは家族が同伴して状況を説明して頂けるので、特にオレンジシートの必要性がない。歯科訪問診療においては、ケアマネージャーからの依頼をまだ受けたことが無いので、目にした事が無い。	歯科医師
・居宅療養管理指導の報告書により医療との連携がとれているケースが多く、オレンジ連携シートの必要性をあまり感じたことはありませんが、機会がありましたら利用してみたいと思います。	薬剤師
・医療機関での連携において、地域生活連携シートがメインとなっており、オレンジシートの必要性を感じない。シートを一本化した方が良いと思います。	MSW
・地域生活連携シートで代用できる場合もあるのではないかと感じている。目的や意図は理解できるが、それほど明確な差はないのではないかと。	ケアマネ
	等

【研修・報告会希望】 16件

・機会がある時、薬局での活用の具体例があれば講習会等で教えていただければと思います。	薬剤師
・コロナ禍ではありますが勉強会があるとありがたいです。	MSW
・日常的にシートを活用され、円滑な連携につながっている、具体例を元に活用方法について研修会(オンラインでも)を企画頂けると利用の契機になるのではないかと考えます。	ケアマネ
・機会をつくって頂けるのであれば、このシートに関する研修会に参加して勉強がしたいです。	ケアマネ
・オレンジ連携シートの活用をもっと広め周知してもらいたい。認知症の症状を共有できたら良いと思う。特に病院で必要としてくれる様共有研修が必要だと思う。	ケアマネ
	等

【連携・活用できない】 15件

・送付するものの病院からの返信が殆どない。(書類で返ってこず、電話での回答となってしまう。)何か良い方法がないのかとい	ケアマネ
・上手く活用できれば、多職種との連携に非常に役立つシートと思われます。しかし、使い慣れていないため、なかなか使う機会もなく、受け取る機会もない現状です。	ケアマネ
・入院時に発信したが役に立ったのか?どうかの反応もわかりません。連携シートを催促してくる病院もありますが、その後なんの反応もないことはよくあります。	ケアマネ
・要請があり、発信するが返信がなく、目的を果たせない。また、有効に活用できていると感じるのは特定の医療機関に限られるが、返信が届くまでに時間がかかりすぎると感じる。	市町村
	等

【加算・報酬希望】 13件

・シートを利用すれば何らかの報酬等のインセンティブがあれば利用する機会も増えるのではないのでしょうか。	薬剤師
・診療報酬等がつくと、活用の機会が多いと思います。ただ病院側も、地域包括やケアマネ等も書類作成が現在も多いため、あるもの(書式)で代用いただきたいと思います。(診情や、サマリー等)	MSW
・介護側に加算がつくような仕組みにしてほしい。	ケアマネ
・加算等つかないと発信者も少なく、認知度も広がらないと思う。受けとっている側の必要度も少なく感じる。	ケアマネ
・予防の方は、入退院時加算がない(介護のみ)	市町村
	等

【意見・要望なし】 41件

【その他】 108件

・受診の際に、地域包括支援センターさん等から、情報をオレンジ連携シートにて頂けるとありがたいですが、お互いに書類を記入する手間を考えると、どうしても電話にて口頭で連絡を取り合うことが多くなっている様に思います。	医師
・有用性は理解できるが、毎日の業務で手一杯で、なかなか認知症支援に関わる事ができないでおりますが、専門職、各自がアンテナをはることが大切だと思います。	薬剤師
・千葉県オレンジ連携シートを活用されている医療機関施設があれば教えてほしい。急に送られてきても、困惑することもあると思うので、リストがあったほうが活用しやすいと思いました。	薬剤師
・様々な専門医が使用することが可能で、広域的な連携に有効に働くことが期待されているので、周知・運用のモニタリング評価を繰り返し実施することが重要だと思えます。	MSW
・業務負担が増えるようであれば利用は難しいかもしれません。	ケアマネ
・シートの発信に際し、医療側から必要時に依頼があると発信しやすいと思う。(皆、多忙な中、書類の記載も大変なので、必要最低限で利用したいと思う)	ケアマネ
・このシートを活用することで認知症症状による理解し難い言動についてやどのように対処したら良いのか等理解共有しあえたらと思う。	ケアマネ
・以前も同様のアンケートをいただいたと思いますが、その後の変化を感じておりません。効果的に活用されると良いですね。	市町村
・このシートのメリットは、医療機関・相談支援機関等が同じツールで本人の情報をやり取りすることで情報の共通認識が円滑に行えることだと思いますが、実情は医療機関それぞれの情報収集の方法が確立しており、このツール(オレンジ連携シート)が使われる機会が少なくなってしまうと感じます。医療機関側は「オレンジ連携シート」が示されても示されなくても、診察時に聞き取る情報の内容は同じ事になるのではないのでしょうか。	市町村
	等